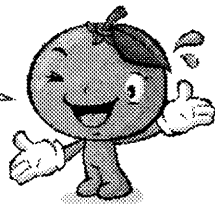


あ～、たのしかった！

# 荒牧町文化発表会

発表の皆さん  
ありがとうございました。



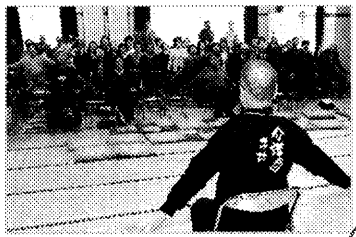
2年目を迎えた文化発表会。今年は、ステージ発表に加えて展示発表も。荒牧町公民館では、大広間で歌や踊りのステージ発表でにぎやかに、2階和室では、絵画や書道などの展示発表で芸術に浸り、文化の秋を満喫しました。その一部の様子を写真でご覧ください。

歌を聴いたり、踊りを見たり、体操をしたり  
そして最後は秋の歌を全員合唱したり～  
ああおもしろかった！

歌を楽しむ

踊りを楽しむ

一緒に楽しむ



# 荒牧町だより

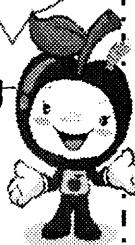
第161号  
荒牧町自治会  
広報委員会

文化発表会  
は裏面  
にも続く

## 自治会からの お礼と お願い

- ☆今、赤い羽根募金、歳末たすけあい募金でお世話になっています。よろしくお願ひします
- ☆大量の落ち葉で大変な公園清掃、ありがとうございます。
- ☆過日お願ひしました散歩犬の糞処理、ゴミ出しのルール、飼い主のいない猫へのエサやり、など、おかげさまで町内がきれいに保たれています。
- ☆防犯活動やパトロールや見守りなどのボランティア活動のおかげで、町内の平穏が保たれています。せわしい年の瀬も、よろしくお願ひします。
- ☆文化発表会で発表していただいた皆様、見に来てくれた皆様、おかげさまでにぎやかに開催できました。

あいごりがともうす



## 中止？とんでもない！～10月17日～ 初体験記 老人福祉親善グランドゴルフ大会

朝から雨、「これは中止かなあ？」と思いきや、公園に行ってみると、カップ姿の選手たちが全員集まって、開会を待っている。「なんと、すごい、やる気まんまん」。開会式で並んだ80人の選手団からは湯気が立ち上って～。

この競技、初めての挑戦ということで、先輩たちに持ち方からアドバイスを受ける。『はじめてにしちゃうまいよ』『方向より距離感が大事だよ』『ロングは振り上げた方がいいよ』『ここはボールが右に行きやすいんだよ』『強すぎるとホールからこぼれちゃうから～』などなど。



そんなこんなでワイワイ楽しんでいるうちに、雨も上がって絶好のコンディションに。『少し湿ってたほうがねらいやすいんだよ』と先輩が。そのせいか、ホールインワンがたくさん

出て、あちこちで歓声があがる。

おいしいお料理を頂きながら表彰式。賞品がた～くさんあって、全員が何かをもらいました。『遊んで、食べて、もらって』、ああ楽しかった。



優勝チームです



最高齢で～す

なお、賞品購入にあたり、共催の長寿会及び荒牧町商工親睦会より、ご支援を頂くと共に、今年も岡野新聞店様と前橋市農協南橋支所様から協賛品(大会賞品多数)をいただきました。お礼申し上げますとともに、ここに町内の皆様にご紹介いたします。

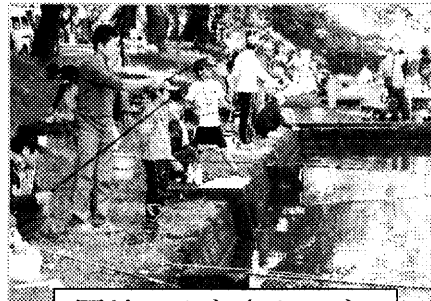
### マス釣り大会 ～10月18日～

絶好の秋晴れの下、団地地区と中荒牧地区が同日開催となった大会には、敷島公園の釣り堀池に、合わせて50人あまりが参加しました。

はじめの食いつきが一息つくと、なかなか釣れなくて、「今年のマスは食いつきが悪いねえ」とか「マスに事前エサをやったんじゃないねえ」などと苦戦していましたが、エサや糸などを工夫して、あちこちで釣り上げていました。マスが糸を引いた瞬間の感激に家族そろって歓声を上げる姿が、秋の日に輝いていました。



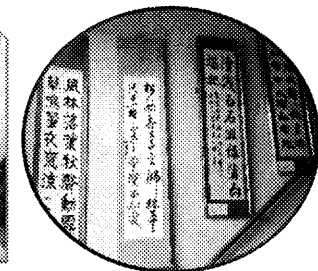
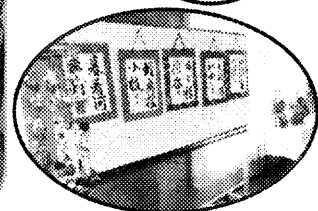
中荒牧のみなさんです



団地のみなさんです

### 文化発表会のつづき～

2階の和室や廊下がギャラリーに変わり芸術作品が展示され、力作の一つ一つに「これ、いいね～」「これ、すてきね～」などなど。感心していました。



### 荒牧町たんけん NO. 38

#### 荒牧町と上小出町とのつながり

上小出町の栗原繁氏作成による「上小出町十景録」の中に荒牧町と上小出町の間で幾つかの接点のあることが見受けられる。この古尋録は上小出町に伝わる古文書等をもとに作成されている。

(1) かつての上小出村が輩出した著名な国文学者で俳人でもあった藍沢無満が安政4(1775)年に生まれている。



幼名は茂造といい、無満はその号である。後に寺子屋で学問を教えていたが、俳諧師匠の名声を慕って、師事するものが300人を越えた。その中には農聖船津伝治平もいたとの事である。無満は2歳で母と死別し、母亡き後、北橋村字八崎の某家(氏名不詳)に預けられた。その後9歳の時に「隣村荒牧村の造り酒屋関口長吉宅に預けられた」という記録がある。

現在、下宿の関口博氏宅は、荒牧村唯一の酒造家であったとされてきたが、この記録によると改めて、この事実が実証されたことになり、此の両村のつながりが見えてきた。

(2) 桃川小学校沿革史によると、明治6年12月日輪寺村の日輪寺に設けられた。

上小出村には明治6年9月7日に香集寺の住職が、他に先駆けて上小出独自の「県令認可公立小学校」を開設していた。だが2年後の明治8年9月、児童数が少ないため、桃川小学校に合併された。翌年の明治9年2月小出小学校は分離し、同11年1月再び桃川小学校に合併され、翌12年1月又もや小出小学校は分離している。

なぜこの様に合併分離を繰り返していたのか、多分当時の村人は15丁(約2km)もある遠い日輪寺にあった桃川小学校まで、幼い子供たちが雨の日、雪の日、木枯らしの強い日に通わせるのが可哀想だと考えたのであろうか。

その他、明治12年2月南勢多郡上小出邨《村》が小出小学校の独立を希望するため「当村小学校再立御願」を県令宛に提出した書類が残っている。興味深いのは当時の県令が、今NHK大河ドラマ「花燃ゆ」に登場しているあの「楫取素彦」である。

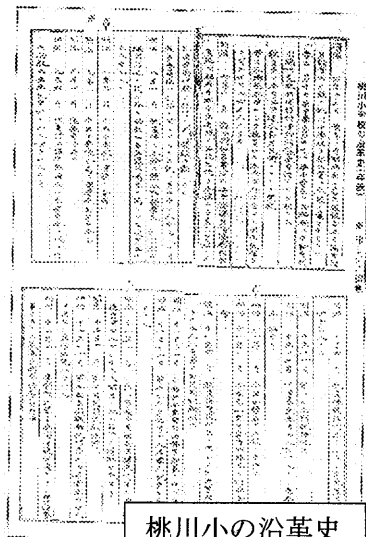
(3) 寛保元(1741)年から2年続けての利根川の大洪水の頃と思われるが、広瀬川左岸近くにあった墓所が流されるというので、広瀬川右岸の小高い「字荒牧境」に急遽移したという。此の字は荒牧村に隣接している上小出地区にあり、直接荒牧村の地域ではない。

昭和61年区画整理事業で造成された第1号霊園に流失を免れた「荒牧境墓地」の墓石が移され、その墓石の傍らの過去碑には次のように刻まれている。

「上小出村字橋端にありしが、天文8(1539)年利根川の大氾濫以来相次ぐ洪水により、その地を荒牧境に移し、今日迄300年余りを閲したところ、昭和61年上小出町区画整理事業の施工により、祖先の墓域を改葬し、ここに霊を祀る」となっている。

岩神の飛石稲荷から上小出村を通り荒牧村を抜けていったかつての沼田街道の存在により、上小出村と荒牧村は、何かにつけて繋がりがあったのではないかと推察される。

(赤松)



桃川小の沿革史